

ながはま見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介します。あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課（☎65-6504）までお知らせください。

6月13日(水)～17日(日)

迫力の取組に歓声

今年で5年連続となる大相撲宮城野部屋の長浜合宿が、滋賀近交運輸倉庫で行われました。

最終日には、力士達の迫力満点の稽古を一目見ようと、大勢の人が集まりました。四股やすり足、ぶつかり稽古など力士たちの稽古は迫力満点。幼稚園児から中学生が参加する子ども体験相撲では、園児らが大勢で力士に挑んだり、中学生が白鵬関に胸を借りる場面もあり、大きな歓声が沸き起こりました。



6月17日(日)

鍛冶のまちに槌音が響き渡る

鍛冶屋町で「とんてんかんin鍛冶屋」が行われました。このイベントは、かつての鍛冶のまちの賑わいを再現しようと地元有志でつくる実行委員会が行っているものです。

この日は数多くの模擬店のほか、槌打ち体験やペーパーナイフ作り、包丁の刃とぎなど、鍛冶屋ならではの催しが行われました。天気も快晴となり、絶好のお出かけ日和となったこの日。多くの家族連れが鍛冶の町を堪能しました。



6月24日(日)

駅前に図書館がやってきた

えきまちテラス長浜で「おでかけ図書館inえきまちテラス」が開催されました。これは、普段図書館に行く機会が少ない人や、子育て中の人に気軽に本に触れてもらおうと、市立長浜図書館が開いたものです。

本の貸し出しや市立図書館の利用カードの発行も行われたほか、図書館職員による絵本の読み聞かせもあり、多くの親子連れが本に親しみました。



6月24日(日)

歯の健康を考える日

長浜文化芸術会館で、歯の健康について関心を持ってもらおうと「湖北口腔保健フェスティバル」が開かれました。

「親子でいい歯コンクール」も合わせて開催され、垣見友紀さん・主人くん親子が最優秀賞を受賞しました。垣見さんは、「食べた後は必ずお茶を飲むようにしています。子どもに対しては、甘いものはなるべく食べないように、時間をきめてダラダラ食べないようにしています」と、秘訣を語りました。

長浜市公式 SNS

- 長浜の催しや風景など、自慢の一枚をInstagramに投稿してください。長浜市公式Instagramアカウント「#みんなのちょびっく」で紹介します。詳しくは市ホームページをご覧ください。
- 見聞録のイベントは市公式Facebookページでもさらに詳しくみることができます。



▲市ホームページ



▲ほっとにゆーす

7月1日(日)

元気に「はっけよい！」

金太郎が幼少期を過ごしたという伝説が残る西黒田地区で今年で20回目になる「金太郎相撲大会」が行なわれました。

今年は4歳から小学6年生までの総勢80人が参加。各年代にわかれてのトーナメント形式で行われ、子どもたちは優勝をめざして熱戦を繰り広げました。

子どもたちの可愛らしい取組や豪快な投げ技に会場は大いに盛り上がりました。



7月1日(日)

まちに喜びの光があふれる

中心市街地一帯で、「黒壁に行こう ガラスと灯りのミュージアム」が開催されました。

これは、黒壁30周年を記念して一年を通じて行われる「黒壁三十祭」のオープニングとなる催しです。北国街道や大手門通りにはガラス作品や1万個もの玉灯が並べられ、お祝いに訪れた人々によって一つひとつともされました。祝福の光にあふれた黒壁周辺には多くの人が訪れ、ガラスと光のコラボレーションを楽しみました。

7月15日(日)

山中の池には何が棲んでいるかな

山の中腹にありながら、年中満々と水をたたえる菅山寺境内の「朱雀池」。菅山寺保存会と地元坂口自治会が4年ぶりに池の泥さらいを行うのに合わせ、生物調査観察会が開かれました。

酷暑となったこの日、清掃にはおよそ20人ほどが参加。池の中に入って底に積もった落ち葉や木の枝を除去しました。生物調査では、アカハライモリやタゴガエル、淡水魚のモツゴなど様々な生物が確認され、自然観察指導員による解説が行われました。



7月16日(月・祝)

びわ湖の恵みに感謝

尾上漁港一帯で、「水とロマンの祭典」が開催されました。

びわ湖の恵みに感謝することを目的に毎年開催されているもので、今年で33回目となる人気イベントです。

ニゴロブナ約3,000匹の稚魚放流をオープニングに、尾上浜での宝探しや湖上タクシー、ステージイベントなど、多彩な催しで湖北の夏を満喫しました。模擬店で湖魚料理が楽しめるのもこのイベントの醍醐味。訪れた人々は、びわ湖の幸を存分に楽しみました。

